



# ひろば



サンパチェンス

令和6年12月24日発行

## 夢に向かって羽ばたけ！先輩講話

校長 山 美奈子



12月6日(金)、ANAホールディングス代表取締役社長の芝田浩二さんを講師にお招きして先輩講話を実施しました。芝田さんは小学5年生で本校に転入され、住用小と住用中を卒業されました。島で生まれ育ち、郷里を大切に思いながら世界的に活躍されている芝田さんのお話を聴き、子どもたちも大きく羽ばたききっかけにしてほしいという願い。澤さんをはじめ多くの方々のおかげで何物にも替えられない貴重で素敵な講話が実現しました。この場を借りて心より御礼申し上げます。講話では、加計呂麻島や住用で自然に抱かれながら過ごした幼少期のお話、外国に行きたいという夢を実現させていく過程のお話、大学時代に北京の日本人大使館で働いた経験やANAに入社してからのさまざまな経験のお話を子どもたちに向けて話してくださいました。子どもたちも、芝田さんの外国での生活や仕事、多くの著名人たちとのエピソードなど身をのり出して聞き入っていました。また、芝田さんに直接質問する場面では、多くの子どもたちが積極的に質問するなど、子どもたちにとっての夢を育むとても有意義な時間となりました。芝田さんからの子どもたちに向けた心あたたまるメッセージを以下にまとめました。

- ◎ **趣味を持ち、何事にも一生懸命に取り組もう！** 地球には無限の出会いがあり、自分の世界も広がる。カメラ好きという趣味を活かして、NikonとANAとのコラボも実現された芝田さん。釣り、空手、将棋、スキー等多趣味であり、それが仕事へつながっている。
- ◎ **井の中の蛙にならず、大海を知ろう！** 幼い頃、台風を逃れて薩川湾に停泊していた外国船を見たときの母親の言葉である。奄美人には元来、ダイバーシティ（多様性）が備わっている。コミュニティの支えのもと恵まれた環境で育っている誇りをもち、自信をもって世界に挑戦してほしい。
- ◎ **よく学び、よく遊ぼう！** 小中学生時代は、バレー・相撲・卓球・ソフトボールなどいろんなスポーツに興味をもって取り組んでいた。また、「いつか外国に行ってみよう」と思い、置かれた場所で、常に努力をした。島の子たちは伸びしろが大きいから、勉強した分どんどん伸びる。自分の力をどんどん試してほしい。

Googleの向こうに見えるリュウキュウアユ

さんしんじょうぶしを習つ夏

四年 澤 紅葉

五年 森岡 莉緒

先日、「かわなべ青の俳句コンクール」で森岡莉緒さんと澤紅葉さんが特選を受賞した。応募総数十二万四千六百十三点の中からの受賞という素晴らしい結果。文頭の二句はその受賞作品。日頃の体験を小学生らしい感性で捉えた俳句は、素直で生き生きとしていて心を打つ。

莉緒さんの句。キラキラ輝く夏の役勝川の中で、リュウキュウアユと出会った喜びや驚かせないように静かに愛おしく見守る莉緒さんの姿が目の前に浮かぶ。水や川という言葉を一言も使っていないにもかかわらず、川の水温や晴れ渡る住用の大自然の中に息づく多くの生命の息つかいまで想像させる秀作である。

紅葉さんの句。さんしんを「弾く」ではなく「習う」という言葉から、さんしんの弦を押さえる指先やつま弾く指先を見つめながら一生懸命に稽古している紅葉さんの姿が目につかぶ。周りの情景が描かれないことで、人物の行動がクローズアップされ、さんしんの音のつたよいすら節の心地よい調べが聞こえてくる秀作である。

今まで全校朝会や国語の授業をとおして俳句作りの授業を行ってきたが、毎回子どもたちの感性でしか詠めない大人顔負けの秀作と出会う。どれも新鮮で素直な俳句。子供たちに語彙力や表現力そして感性が育っていることがひしひしと伝わってくる。

俳句に触れることは、日本語の美しさに気が付き、新しい言葉や表現に出会うことにつながる。俳句というフィルターを通して、普段の生活を見直し、吹く風や季節を感じたり、新たな発見に心躍らせたりすることで日常生活に変化が生まれる。短いフレーズに自分の思いを込めるのは難しい。だからこそ、言葉の力や想像力も育ち、自然と言語感覚が身に付く。五感を研ぎ澄ませて感じ、それを言葉で表現する経験が、子どもたちの感性を伸ばす。

今後、多様な価値観の渦巻く社会を生き抜いてく子どもたち。日本語の響きの美しさ、言葉のもつ奥深さに気が付き、言葉を大切にできる人に育つことを心から願う。

## 先輩講話～世界で活躍する卒業生～



12月6日(金)、住用小学校の卒業生であり、現在はANAホールディングス代表取締役社長である芝田浩二さんをお招きし、町内の小中学生を対象に先輩授業を実施しました。地域の方も含め80名以上の方の参加がありました。芝田さんは、故郷を誇りに思う気持ちを大切に、夢に向かってがんばること等をお話してくださいました。また、子どもたちの質問にも丁寧に答えてくださいました。貴重な機会をありがとうございました。

## 人権教室～大切なあなた,大切な私～



12月3日(火)は、人権擁護委員の満さん、栄さんを講師として、人権教室を実施しました。1,2年生は、さるかに合戦の話を通して、いじめをせず仲良く過ごすことについて考えました。3年生以上は、SNS上でのトラブルについて学びました。ご家庭や地域でも、SNS上での交流・課金等の危険性について、子どもたちと一緒に考えるとともに、フィルタリングの設定もお願いします。学校・地域・家庭で協力し、子どもたちを守りましょう。

## 楽しさいっぱい読書祭り



12月10日(火)は、嘉原カリさんと南久美子さんによる読み聞かせを実施しました。いろいろな種類の読み聞かせがあり、子どもたちは食い入るように聞き入っていました。後半は、指や体を使った交流活動もあり、あっというまの70分でした。現在100冊読破した児童は17名中5名。3学期も本に親しめるよう支援していきます。

## みんなで走る校内持久走大会



12月14日(土)、地元のランナーである川畑さんに伴走をお願いし、校内持久走大会を実施しました。この日まで、子どもたちは朝のランニングを「たんかんカード」に記録しながら練習を続けてきました。当日は、霧雨の降る中、子どもたちは最後まで一生懸命走り抜きました。伴走をしてくださった川畑さん、一緒に走ってくださったり交通整理・応援をしてくださったりした皆様、住用駐在所の山下さん、ありがとうございました。

## 希少植物探し隊～第3弾 冬編～



12月5日(木)、鹿児島大学の川西准教授をお招きし、校内に生息する固有種・絶滅危惧種の植物探しを行いました。昨年度の秋、今年度の春に続く第3弾となります。オキナワジイやウラジログシのように冬でも緑の葉をつけている「常緑樹」やハゼノキのように紅葉して葉が落ちる「落葉樹」等を前回までとは違い双眼鏡を使って上を見ながら植物探しを楽しみました。この活動を通して、故郷奄美・住用を誇りに思う気持ちが高まりました。

## 花で住用を明るく元気に!



12月は、サンパチェンスの咲いたプランターを校区の16の事業所に届けました。「住用の町を明るく元気にしたい」という思いで、朝のボランティア活動等に育てたものです。該当の事業所の皆様、一緒に住用を明るく元気にしましょう。国道沿いに住用小のプランターを見かけた方は、子どもたちのメッセージもぜひお読みください。

